

マリアは聖霊に満たされて

ルカ 1 : 39 - 45



司祭 ヨハネ 井田 泉

2021年12月19日

降臨節第4主日

聖光教会にて

およそ 15 歳のマリアは、だれにも言えない秘密を心に抱えていました。しばらく前、彼女は、考えられないことを経験しました。天使がマリアに現れて言ったのです。

「聖霊があなたに^{くだ}降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。」ルカ 1:35

「あなたは神の子を産む」と言われたのです。天使ガブリエルは、マリアに最初にこう呼びかけました。

「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

ルカ 1:28

その言葉はマリアを祝福で包み込みました。

しかしこれは、現実の世界にあってはこういうことではないでしょうか。——あなたはヨセフとの婚約中に、父親がだれかわからない子どもを身ごもる。世間からは孤立し、迫害を受けることになるかもしれない。それにあなたは耐えなければならない。

マリアは決意して天使の言葉を受け入れました。神さまを信頼して、その救いの業に自分をゆだねました。不思議な力と喜びと平安に包まれました。けれども、人としては不安と恐怖が時として襲ってきます。このようなことを婚約者ヨセフに話したとしても、とても信じてもらえないかもしれません。

自分ひとりの胸にこれを納めておくには、あまりに大きなこ

とでした。このことを話せるとしたら、ただひとり思い浮かびます。マリアは決意しました。親類のエリサベトを訪ねてこのことを話そう。あのとき天使は、もう年が進んでいるエリサベトが子どもを身ごもって6ヵ月になる、と言っていた。

マリアは立ち上がって出かけました。それが今日の福音書です。

「そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。」ルカ 1:39

「マリアは出かけて」 ちょっと近所に出かけたというのではありません。決意して立ち上がって、出かけたのです。北の地ガリラヤのナザレから、行き先は南のユダの山里の町です。片道3日はかかるでしょうか。「急いで」という言葉に、マリアの気持ちと決意が示されています。

「神さま、あなたを信じます。わたしを助けてください。エリサベトが、わたしが話すことを受け入れてくれますように」

ずっと祈りながら道を急いだに違いありません。そして、とうとう着きました。

「そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶した。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。

『あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。』ルカ 1:40-41

驚きです。マリアは、自分の胎に子どもが与えられていることはだれにも言っていないのです。

マリアの予想をはるかに超えて、エリサベトはすべてを理解してくれました。一緒に喜んでくれました。これはほんとうの信仰の出会いです。神さまを本気で信じる者どうしの出会い、神さまの業を託され引き受けて、喜びも苦労も負っていこうと決意した者どうしの出会いです。お互いに慰められます。励まされます。勇気が湧いてきます。マリアとエリサベト。この二人は、たとえ生活する場所が違って、祈りあい、支えあって、神さまのために生きて行くのです。

この二人の出会いは大切な出来事だと理解されたので、これを記念する日が教会暦の中に定められました。「おとめ聖マリヤの訪問」の祝日です。祈祷書の教会暦の小祝日を見ると、5月31日がこの日です（13頁）。バッハはこの祝日のために美しい音楽を作りました。それが教会カンタータ 147 番「心と口と行いと生活で」（全 10 曲）で、その最後の曲が有名な「主よ、人の望みの喜びよ」の名で広く知られるようになったコラールです。

ところでエリサベトは、マリアと出会ったとき、どうしてマリアのうちに神の子が宿っていることを知ったのでしょうか。聖書はこう言っています。

「マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。」1:41

エリサベトの胎内の子——後の洗礼者ヨハネです——が喜び躍ったので、エリサベトはマリアに起こったことを理解しました。エリサベトは、胎内の子ヨハネと一緒に、マリアと出会った。と同時に、マリアの胎内の子イエスと出会ったのです。

その続きを読みましょう。

「エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。『あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。』」1:41-42

「聖霊に満たされて」 これを大切に心にとめましょう。

聖霊がエリサベトにわからせた。マリアが神の子を宿していることを、聖霊がエリサベトにわからせ悟らせた。そして喜びに満たしました。

「エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。『あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。』」

聖霊の働き、聖霊の充満が、エリサベトに起こったのです。

ルカ福音書は、これより前に「聖霊」について伝えていきます。

すでに6カ月前、エリサベトの夫である祭司ザカリアは、エリサベトに宿る子が聖霊に満たされることを天使から聞かされてきました。天使はこう言ったのです。

「あなたの妻エリサベトは男の子を産む。その子はあなたにとって喜びとなり、楽しみとなる。……彼は既に母の胎にいるときから聖霊に満たされている」 1:13-15

また、マリア自身が、天使のお告げを聞いたとき、こう聞かされました。

「聖霊があなたにくだ降り、いと高き方の力があなたを包む」

1:35

聖霊がマリアに降って、マリアは神の子を身ごもりました。エリサベトの子ヨハネは、母の胎にいるときから聖霊に満たされてきました。そして今、エリサベトは聖霊に満たされています。聖霊の力と喜びのうちに、マリアがいて、エリサベトがいて、エリサベトの胎の子ヨハネがいます。この3人が、神の子イエスを囲んでいます。まだ生まれる前のイエスさまから、喜びと命が溢れてきます。

わたしたちはどこにいらっしゃるのでしょうか。わたしたちはイエスの傍らにいます。わたしたちも、エリサベトたちと同じように、

幼子イエスを囲んでいます。イエスさまから喜びと命が溢れてきます。神の子はわたしたちのためにおいでになりました。クリスマスを祝うわたしたちに、聖霊の祝福が満ちてきますように。

祈ります。

神さま、あなたはわたしたちのために、み子を与えてくださいました。どうかわたしたちにも聖霊の祝福を満たしてください。聖霊によってみ子をはっきりと知って共に喜ぶ者にしてください。わたしたちの救いのために人となられた神のみ子、主イエス・キリストをほめたたえます。アーメン